

〈ミッション〉
自 立
追 究
共 生



未来創造

松江市立義務教育学校
玉湯学園 だより
令和7年10月22日
文責 田中 修

今年度のキーフレーズ

～自ら「気づき・考え・実行する」玉湯学園生のプライドをもって Let's GO～

ホームページもぜひご覧ください！



二次元コードをご利用いただくか、
「玉湯学園ホームページ」で検索ください。
※「つれづれ日記 2025」の写真については、活動の様子が分かる範囲にし、明度や彩度を低くしております。お気づきのことがありましたら、ご一報ください。

短くなった“秋”が感じられますか？

「奥山に 紅葉踏み分け 鳴く鹿の
声聞くとときぞ 秋は悲しき」
(作者は猿丸太夫とされています)

近年、鹿や熊などの野生生物との共存についての話題を多く耳にします。一方、昔の人は、人里離れた山で鳴く鹿の声を聞き、もの哀しい秋の風情を感じ取ったようです。私には、心の余裕の差を痛感させられる一首です。

学園の活動 あれこれ☆彡

玉湯学園のパワー全開↗↗↗

～体育祭(全学年)～

約1カ月前になります。9月24日・25日に体育祭を実施しました。6月下旬になってから、熱中症のリスクの高まりを強く感じ、対策として急きよ2日間開催を決定しました。

1年近く前から開催日程や方法を考えていた中、生徒会をはじめとした児童生徒、教職員、保護者の皆さまには、多大なるご迷惑をおかけしました。改めてお詫びするとともに、ご理解・ご協力いただきましたこと、心より感謝いたします。本当にありがとうございました。

おかげ様で、熱中症に係るドキドキも、天候不順によるハラハラも、必要最小限に終わり、心に残る体育祭となりました。

志気を高めた 迫力のデコレーション

緑組



黄組



赤組



青組



カラフル

～全員でつなぐ虹色のバトン～

～体育祭(全学年)～

スローガンのとおり、各色の華やかさだけでなく、保護者、教職員、そして地域の皆さま方を加え、七色の虹の如く彩られました。

さらに言えば、一人一人の個性(よさ)が色鮮やかに輝き、学園に一体感が生まれた体育祭となりました。各学年だより、学級だよりにも、こどもたちの前向きな感想が紹介してありました。〈一部抜粋して掲載します〉

- ★みんなで協力してあきらめずに仲間と頑張りました。あと6年生さんと9年生さんに教えていただいたおかげで、応援パフォーマンスができました。(5年)
- ★5～9年生色別パフォーマンスが楽しかったし、6年生みたいに頑張りたいです。(5年)
- ★1・2年ぜんいんリレーでさいしょからさいごまで、みんなが全力で走ったから1いがとれました。(2年)
- ★1年生がおうえんをがんばって、パフォーマンスも大きい声で、わたしたちも負けずにがんばろうと思いました。来年は4年生だから、みんなよりも大きい声を出そうと思います。(3年)
- ★コールを初めてつくってやったときは、みんなばらばらでした。でも、4年生で1～3年生にお手本を見せたいから、いっしょにいっぱい練習してがんばったら、ようやくそろいました。色別集会では、1～3年生の赤組がいっしょうけんめいがんばっていてとてもうれしかったです。4年生の赤組もいっしょうけんめいやっていたから、心がそろうようになって楽しかったです。(4年)
- ★ぐるっと回ってGO!GO!GO!で、おかあさんの力で黄色をぬけました。「おかあさんありがとう。」と心の中で思いました。それで青組がゆうしょうしました。わたしも4年生になったら、おうえんパフォーマンスのリーダーをやりたいです。(2年)
- ★まけてくやしかったけど、たのしかったです。(1年)
- ★たいいくさいのたま入れがたのしかったです。(1年)
- ★ふりつけは休憩時間も友達と確認したり、家で練習したりめっちゃがんばりました。(7年)
- ★一生けん命やることができたし、今までで一番頑張ったなと思える体育祭でした。頑張った分、満足感がすごいです。(7年)

また、上級生から下級生に、下級生から上級生に、お礼の言葉や感謝のメッセージが送られ、校舎内の各所に掲示してありました。

温かな交流が、温かな雰囲気醸し出していることをとてもうれしく思っています。

今年で最後の新人戦

～松江市新人競技大会(後期)～

中体連の大会が整理統合され、通称「新人戦」も今年が最後となりました。新チームのスタートの大会として、新制松江市になってからは第21回、八束郡新人戦の頃から考えると50年以上の歴史を刻みました。

来年度の夏、集大成となるブロック大会やコンクールにつながる第一歩となります。結果はもとより内容が大切でしたが、どの部も大きな収穫を得た大会となりました。何よりも、どんな状況になっても諦めずにチャレンジを続け、負けない心を持ち続けた試合が多かったことがうれしく、悔しさも含めて成長の糧にしてほしいと思います。



県民会館で堂々と発表しました

～松江市小中連合音楽会～

10月8日(水)に吹奏楽部が、9日(木)に6年生が、連合音楽会で発表しました。

吹奏楽部が演奏した「ブレントウッド・パス」は、10日ほど前のハートフルコンサートから磨きかけられ、まとまりのある心地よい響きでした。

6年生は、合唱「地球星歌～笑顔のために～」^{せいが}合奏「Permission to Dance」の2曲を披露しました。平和学習に力を入れている6年生が、平和への思いを曲に込めて歌い、演奏し、そして踊りました。そのメッセージが、観客席にいる私たちにダイレクトに伝わるすばらしい演奏でした。

小学校の部では、写真撮影を禁止されたので、壮行演奏会の写真を掲載します。真剣に耳を傾ける下級生の真剣な姿も、6年生の演奏を後押ししました。

詳しくは、HPをご覧ください。



たのしく、なかよく、かしこく… ～遠足(1・2・3・9年生)～

遠足シーズン。多くの学年が出かけました。

1年生は10月2日(木)、「鳥や花、その他の自然に親しみ、友達と仲良く活動する」ことをねらいに、出雲空港やフォーゲルパークに行きました。

まだ暑さが残る中、広大な出雲空港の敷地を走り回ったり、フォーゲルパークのショーを楽しんだりしました。



2年生は10月1日(水)、「科学や水中生物の生態に触れ、友だちと仲良く活動する」ことをねらいに、出雲科学館と宍道湖自然館ゴビウスに行きました。

協力して様々な活動したことは、次の週に実施した町たんけんにも生かされました。



3年生は10月10日(金)に実施し、松江城を見学したり、堀川遊覧船でいつもと違う目線で松江の景色を楽しんだりしました。



9年生は10月3日(金)に、「校外における集団行動の在り方、公衆道徳などについて理解し、必要な行動の仕方を身につけるようにする」というねらいで、出雲大社の参拝や神門通りでの自由行動を楽しみました。

その前に、県立古代出雲歴史博物館を訪ねて、講義を受けたり、藍染め体験をしたりと、しっかり学びを深めました。



国宝指定10周年の松江城へ ～授業化プロジェクト(6年生)～

松江城(天守)の歴史的価値を理解するとともに、松江に対する愛着と誇りを育みたいとのねらいをもって、10月15日(水)に、松江城および松江歴史館の見学に出かけました。

また事前学習として10月2日(木)に、松江城の建設に至る歴史や保存された経緯などについて、宍道正年先生に講義をいただき、しっかりと学んでいました。



事前学習の様子



実際に見上げる天守

くにびきメッセとオンライン会議 ～絆づくりサミット(6年生)～

10月17日(金)、くにびきメッセにおいて「しまね子ども絆づくりサミット」が開催されました。各学校で取り組んでいる絆づくりやいじめ防止の取組を交流の場において共有し、意見交換をすることで、児童生徒一人一人が主体的に取り組んでいく姿勢や態度を育てることが目的のイベントで、第11回を迎えました。

発表校8校を加え、県内17校の小中学校、義務教育学校、高等学校、養護学校が、各校4名程度の児童生徒で参加しました。

玉湯学園では代表12名がメッセでの協議会に参加しただけでなく、オンラインで会場と教室をつなげ、6年生全員がリモート参加で取組発表を聞きました。

写真撮影はできませんでしたが、立候補して参加した12名は積極的に取り組み、関係者の皆さんから絶賛していただきました。

大山の自然を感じながら ～宿泊研修(5年生)～

5年生の宿泊研修は例年サンレイクですが、今年度は大山青年の家で実施しました。10月16日(木)・17日(金)オリエンテーリングやキャンドルの集い、ニュースポーツ(モルックとボッチャ)、ウッドクラフトなどたくさんの活動に取り組みました。

4年生で前期ブロックのリーダーを経験したこともあってか、お互いの仲の良さや協力、団結力といった集団のまとまりが強い学年だと、強く感じました。この研修で、さらに友情を深め、絆を強くしたことと思います。一人一人の「自立・自律」の力を磨き、さらに成長してほしいと思います。



オリエンテーリングで自然を満喫



厳肅なキャンドルの集い

お礼 愛の図書配布♥♥

玉湯地区更生保護女性会より、愛の図書券をいただきました。会員およびお志をいただきました有志の皆さまに、感謝申し上げます。